

八尾市の中学校で出前授業を実施 ～ 「お金の大切さを知るシティ信金マネースクール」を開催 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、10月25日（金）、八尾市立大正中学校の金融教育に協力するため職員を講師として派遣し、同校2年生170名を対象に「お金の大切さを知るシティ信金マネースクール」を開催しました。

当金庫は、令和3年に八尾市と地域活性化に向けた包括連携協定を締結しており、本スクールはその連携の一環として開催したものです。

当日は、金融機関の基本機能や通貨の役割など、基本的な金融の仕組みに加え、金融犯罪や暗号資産、ゲームへの課金など中学生にも身近な事例を基に解説し、お金の利便性と危険性について考える機会となりました。

当金庫はこれまでも、大学での寄付講座や中学生の職業体験学習の受け入れ、商店街における商業体験型イベント「子どもお店バトル」の開催協力など、金融教育活動を通じた地域貢献に取り組んできました。今後も地域との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材の育成に貢献してまいります。

記

- | | |
|----------|--|
| 1. 日時 | 令和6年10月25日（金）14時35分～15時25分 |
| 2. 場所 | 八尾市立大正中学校 |
| 3. 対象者 | 同校2年生170名 |
| 4. 目的 | 高校生への金融教育の必修化に伴い、中学校でも一定の金融教育が必要との考えから、貨幣や金融機関の役割など身近な事例を交えながら理解を促し、金融リテラシーの向上につなげる。 |
| 5. 講義 | |
| (1) 名称 | お金の大切さを知るシティ信金マネースクール |
| (2) 主な内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の基本機能 ・通貨の役割 ・金融犯罪への注意喚起 ・暗号資産の特徴 ・ゲームへの課金 ・社会人の心得 |



事例を交え対話しながら解説する当金庫職員

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

